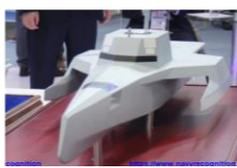


整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -43	2023/2/9	DoD's clarified AI policy flashes 'green light' for robotic weapons: Experts	国防総省がAI 方針を明確にしたことで、ロボット兵器に青信号が灯る	Breaking Defense 2023/2/9	 自律型で攻撃能力を持った兵器の開発&配備に関しての、米国の方針についての記事です。米海軍の自律型無人艦(USV)などに対する今までの議論では、攻撃兵器を載せた無人艦の運用は必ず現場に所在する指揮官(人間)によるスーパーバイズ(監視)が必要とされてきましたが、今回の改正ではその制約が外され、ハードルが下げられたようです。いよいよ人類が制御できないターミネーターが出現するかもしれません。(この記事は JADI 坊古居 業務部長から紹介いただきました。)	岩崎洋一
2023 -44	2022/4/23	U.S. Army Japan's LCU Vessel Masters Discuss U.S. Navy LAW	在日米陸軍の LCU 艦長 が LAW について語る	Naval News 2022/4/23	 在日米陸軍が保有するラニーミード級LCUの船長へのインタビュー。現在、米海兵隊が構想しているLAWに対する意見聴取です。艦尾揚陸方式はバックしながらのビーチングなので難しいと言っています。やっぱり艦首からビーチングするタイプの、平底・低速の「どんぶらっこ」になるのでしょうか？個人的には Sea Transport Solutions 社のタイプが斬新的で好きなのですが、ヘリ甲板は不要とし、艦尾からのビーチングにおける推進プロペラの防護や土砂の吸い込みをどう解決するか？でしょうか。	岩崎洋一
2023 -45	2023/2/14	Marine Corps Requirements Call for 9 Light Amphibious Ships per Regiment	海兵隊は1個連隊 (Regiment)あたり9隻の軽揚陸舟艇を要求	USNI News 2023/2/14	 以前言われていた海兵隊の軽両用艦(LAWLAW: Light Amphibious Warship Warship)構想が、中型上陸用舟艇(LSMLSM: Landing Ship Medium)という名称に変わりました。LAWにはスターン・ランディング(艦尾揚陸)という斬新なアイデアもありましたが、基本設計がまもなく終わるというLSMのほうのデザインは不明です。海兵隊は並行してスターン・ランディングの艦を2隻リースで借りて試験すると言っています。陸自輸送船との関係はあるのでしょうか？	岩崎洋一
2023 -46	2023/2/25	Former 7th Fleet Logistics Chief Sentenced to 30-Months in 'Fat Leonard' Bribery Case	元第7艦隊のロジスティック 上級士官が「ファット・レナード」スキャンダルで禁固30か月	USNI News 2023/2/25	 ファット・レナード事件の続報です。	岩崎洋一
2023 -47	2023/2/27	USS Chancellorsville to be Renamed After Former Slave Who Captured Confederate Ship	巡洋艦「チャンセラーズ・ヴィル」が、南軍の艦を捕獲した元奴隷の名前に改名へ	USNI News 2023/2/27	 米民主党に代表されるポリティカル・コレクトネスです。海自の艦名はその点、文句のつけようは無いです。	岩崎洋一
2023 -48	2023/2/24	Russian Carrier Kuznetsov Leaves Dry Dock... At Last	ロシア空母Kuznetsovはドライドックを出た...最後の	Naval News 2023/2/24	 オーバーホール中の入渠中に浮きドックが沈没し倒壊したクレーンが激突したり、火災で艦内が広範囲に焼損したりと、ご難続きのロシア唯一の空母 Kuznetsovの修理が6年かけてやっと来年終わるようです。沈没した浮きドックは同艦を入渠できる唯一の設備でしたが、ロシアは造船所の並列するドック2本を統合改築してKuznetsovが入渠できる設備を新たに作ったようです。	佐々木司
2023 -49	2023/3/2	NAVDEX 2023: China unveils JARI-USV-A for the first time	NAVDEX2023: 中国がJARI-USV-Aを初公開	Navyrecognition 2023/3/2	 アブダビで開催中の装備展NAVDEX2023において中国が新型の無人船を初公開しました。自動航行のみならず、対空、対水上、対潜戦闘も行うことのできる万能型だそうです。写真を見る限り非武装のトリマラン船に見えますが、記事を読むと「本当にそんな能力があるのか」と疑ってしまいます。これから開発するのでかなり話が盛られているのかも知れません。	佐々木司
2023 -50	2023/3/7	Congress Notified of Potential \$1.4B E-2D Hawkeye Sale to Japan	米議会は総額14億ドルとされるE-2Dホークアイの日本売却を通知	USNI News 2023/3/7	 この売却に含まれる、6台の「戦術データリンク無線システム」は、おそらくF-35とのデータリンクが可能なMADL(多機能先進データリンク)ではないでしょうか。空自は当初のE-2Dでこれをわざわざ外して購入していたという話をどこかで聞きましたが、真相は？	岩崎洋一
2023 -51	2023/3/8	Surface force lays out tech development timeline for industry	水上部隊は工業界に対し技術開発のタイムラインを明示する	Defense News 2023/3/8	 米海軍が新規開発装備品のタイムラインを工業界に開示しました。向こう15年間のスケジュールが概ねわかります。無人水上艦の開発にかなり力を注ぐようです。無人水上艦は移動式の「臨時弾薬庫」として、洋上で有人指令艦からの遠隔操作でコンテナ式ランチャーからミサイルを発射する構想のようです。人手不足の海自でもぜひ考慮すべき構想ではないでしょうか。	佐々木司

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -52	2023/3/1	Ekranoplans Could Support EABO	「エクラノプラン」を EABO に使えるかも	Proceedings 2023/3/1	 いろいろなアイデア が出るのも米国の強みです。プロシーディングス誌 3月号から。	岩崎洋一
2023 -53	2023/3/7	Destroyer USS John Finn Joins U.S. Forward-Deployed Forces in Japan	駆逐艦「ジョン・フィン」が日本配備の米艦隊に合流	USNI News 2023/3/7	 パーク級フライト IIA リスタート艦の 3隻が、これで横須賀に揃いました。いずれも BL9 で BMD 対応 です。 DDG -113「ジョン・フィン」 DDG -114「ラルフ・ジョンソン」 DDG -115「ラファエル・ペラルタ」 「ジョン・フィン」はタイコンデロガ級「シャイロー」の任務(CSG の防空指揮艦)を引き継ぐということです。 参考までに、横須賀在のイージス駆逐艦は上記以外に、 DDG -65「ベンフォールド」BL9 DDG -69「ミリウス」BL9 DDG -76「ヒギンズ」 DDG -83「ハワード」 DDG -86「シャウプ」BL9 DDG -105「デュエイ」ODINODIN(Optical Dazzling Interdictor Interdictor) です。	岩崎洋一
2023 -54	2023/3/10	German Navy Mulling Drone-Heavy Force Structure Looking Towards 2035 And Beyond	ドイツ海軍は2035年及びその先を見越して兵力構造に多くのドローンを混在させる	Naval News 2023/3/10	 ドイツ海軍の2035年以降の兵力構成に関する文書が明らかになりました。前回の構想にはなかった多様なドローンを広範囲に導入する計画になっています。実現性の度合いは別として、どのようなドローンをどのような場面で活用するのかを想定して計画しているところは立派です。海自もこれくらいのアウトラインを決めてドローンを本格導入すべきでしょう。	佐々木司
2023 -55	2023/3/12	South Korea Eyeing Larger Aircraft Carrier For Its CVX Program	韓国は自国のCVX計画でより大型の空母を見込む	Naval News 2023/3/12	 2021年にプサンで開かれた装備展で大々的に発表した韓国海軍の空母計画は政権交代と共にりを潜めていましたが、ここにきて再登場しました。しかも前回発表時は排水量3万トンだったのが、いつの間にか5万トンに巨大化しています。艦載機もF-35Bではなく国産で開発中のKF-21を艦載化して搭載するそうです。かなり大風呂敷を広げましたが実現できるのでしょうか？	佐々木司
2023 -56	2023/3/17	Japan Faces Readiness Hurdle As it Modernizes Military, Former Defense Chief Says	日本は防衛力の近代化の中で即応性の問題に直面している、と元自衛隊トップが語る	USNI News 2023/3/17	 河野元統幕長が、極めてまっとうな、あたりまえのことを語っておられます。	岩崎洋一
2023 -57	2023/3/10	Tom Cruise Buzzes USS George H.W. Bush, Carrier Could Play Role in New 'Mission Impossible' Movie	トム・クルーズが「ジョージ・H・W・ブッシュ」艦上で、映画「ミッション・インポッシブル」の新作で空母が活躍するかもとバズる	USNI News 2023/3/10	 ミッション・インポッシブルの最新作「死霊のはらわた」は7月公開予定で、そのパート2がすでに米空母艦上で撮影されたということです。	岩崎洋一
2023 -58	2023/3/26	U.S. Navy Commences USS Connecticut (SSN 22) Repairs	米海軍はUSS Connecticut (SSN 22)の修理を開始する	Naval News 2023/3/26	 2021年10月にインド洋で海山に衝突し、艦首を大破した米海軍原潜Connecticutが被害調査を終え本格修理に着手するようです。ただし、その期間が2023年2月から何と31か月かかるのだとか。そうすると完工は2025年9月ごろとなり、米海軍でも虎の子のSeawolf型の同艦は事故後丸4年間非可動艦になります。艦齢を考慮すると復帰しても長くは使えないのでは？	佐々木司
2023 -59	2023/2/28	In focus: the Fleet Solid Support ship design	焦点: Fleet Solid Support Shipの設計	Navy Lookout 2023/2/28	 概要ではありますが、英海軍補助艦艇FSSの設計が紹介されています。ここで注目したいのは、FSSは補助艦艇でありながら、一定程度、戦闘被害に対する抗たん性を考慮した設計がなされているという点です。特に推進システム・電源に対しては、最新補給艦のタイド級に倣い、さまざまな面で、冗長性確保がされているようです。また、英政府のネット・ゼロ公約を履行・実現する設計もなされると思われます。依然、概要の段階であり、今後詳細が判明してくると思います。引き続き、注目していきます。	本山泰之

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -60	2023/3/13	Australia to join Royal Navy SSN(R) submarine programme	豪州が英海軍のSSN(R)潜水艦計画に参加へ	Navy Lookout 2023/3/13	  <p>先日発表された、AUKUS協定の潜水艦計画の続報です。2027年から英海軍 Astute級1隻と最大4隻の米海軍Virginia 級を豪州に配備すること、就役目標を2040年代初頭とした次期英SSN計画に豪州が参加することが発表されました。本記事には思いがけない技術情報も含まれています。兎にも角にも、英国は、多くの不安と期待が錯綜しているようです。最大の不安要因は、豪州の政治的な不安定性があると思われます。一方で、事実上離脱困難となる違約金を課した契約や長期的な展望など、英国な強かな戦略も見えます。</p>	本山泰之